



な か ま

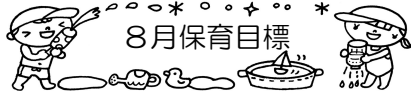


2020.7.20

梅雨明けが待ち遠しい今日この頃ですが、子どもたちは梅雨の晴れ間をみて、短時間でも戸外遊びを楽しみ、年中長児では、特に鉄棒やブランコこぎに挑戦しています。

まもなく梅雨明け！梅雨明けと同時に8月の暑さのため、体調がくずれ夏バテにつながる時期です。9月・10月に備えて健康維持には、園・ご家庭共十分留意していきたいと思います。

皆様のご理解・ご協力をよろしくお願い致します。



8月保育目標

- ☆夏ならではの遊びを存分に楽しむ。
- ☆十分な休息、バランスの良い食事を摂り健康を保つ。

◎ 1号認定児登園日 ◎

8月6日・7日・20日・21日

の4日間(通常保育、園バス有)

持ち物：お弁当・水筒・水遊びの用意・着替え

8月特集号の答え

なぞなぞのまち?...①やおや ②はなや ③さかなや ④にくや ⑤ポスト ⑥しんごうき

とんちくいず...①くちびる ②あせ ③シャベル ④うきわ ⑤バナナ



8月行事予定		備考
6日(木)	1号認定児登園日	
7日(金)	1号認定児登園日 お弁当の日	
12日(水)	地震・火災避難訓練	
11日(火)~ 14日(金)	2・3号希望保育	園バスなし
17日(月)	不審者対策避難訓練	
20日(木)	1号認定児登園日 身体測定	
21日(金)	1号認定児登園日 お誕生会	
9月行事予定		備考
1日(火)	始業式	通常保育
7日(月)	不審者対策避難訓練	
9日(水)	お弁当の日 地震・火災避難訓練	

※8月の『お弁当の日』と『お誕生会』の曜日が変更になっていますので、ご注意ください。

【近況状況】

◆ひよこぐみ◆

気に入ったおもちゃで遊んだり、戸外や広いテラスで体を動かし楽しんでいます。みんな食欲旺盛で毎日殆ど完食しています。また、大きいことの触れ合いもとても喜び、毎日笑顔で過ごしています。

◇はとぐみ◇

午前寝をしなくても元気に遊べる体力がついて、戸外では砂遊びや遊具で存分に遊んでいます。お部屋では、DVDを観ながら体を動かしたり、手遊びを楽しんでいます。

ひよこぐみやあひるぐみさんとも、いつも一緒に遊んでいます。

◆あひるぐみ◆

トイレトレーニングは一人ひとりのペースで進めています。タイミングが合うとトイレで成功しています。絵本も大好きで、声を掛けると嬉しそうに見ている姿が見られます。ピアノに合わせて歌ったり、踊ったり楽しそうです。

◇りすぐみ◇

新入園児のお友達も園生活にすっかり慣れ、仲の良い友達同士で集まって遊んでいます。少しずつルールのある遊びにも全員で挑戦し、だるまさんがころんだや椅子取りゲーム、おにごっこなどを楽しんでいます。



◆うさぎぐみ◆

「運動会でかっこいいところを見てもらおうだ!」と皆で1つの目標に向かって、マーチングの練習を頑張っています。戸外では、お友達同士でおにごっこをして体を動かしたり、草花や生き物に興味を持ち、見つけたものを図鑑で探したりして、仲間との会話も弾み楽しそうです。

◇きりんぐみ◇

運動会へ向けてマーチングの練習を頑張っています。年長児としての自覚も芽生え、少しずつ上手に行えるようになっていくことに子ども達も嬉しそうです。最近は、お絵描きが好きな子が多く、絵を描いて楽しんでいます。粘土も好きで色々なものを作って、友達同士見せ合い、友達の作ったものにも興味を持つようになりました。

<0~3歳に大切な親の関わり方>

「守ってもらえる」という安心感が「幸せになる力」の土台を育てる。

子どもは怖くて不安な時に大人に守ってもらえたという経験をすることで、人への信頼感や自分は守ってもらえる価値があるという自己肯定感が育ちます。この基盤となるのがアタッチメント(愛着関係)です。この関係は、子どもが不安を感じた時や怖い思いをした時に親などの大人が慰めたり、共感してあげたりすることで作られます。お家の方がお子さんにとってのさまざまなことにチャレンジする意欲や好奇心が育っていきます。こういった心のたくましさは、お子さんの生涯にわたって支える力につながります。



- ・子どもにとっての「安心の基地」になるためには?
- 1. やりたいことに「取り組みやすい環境」をつくる。
- 2. 「困った」サインが見られたら元気づける。
- 3. 子どもが遊んでいる時には、応援団として「温かく見守る」
- 4. ひとりでやろうとしていたら手を出さない。



※保護者の皆さん、心がけてみましょう!

東京大学大学院教育学研究科教授 遠藤利彦先生より

～ 夏バテ対策 ～

今年も暑い夏がやってきました。夏バテを防止するには、どうすればよいでしょうか。まずは、空調の温度を外気温よりマイナス5℃程度に設定しましょう。高温でも、湿度が低ければ夏バテしにくい「ドライ」の機能を使って上手に除湿します。ただし猛暑日など外気温が高すぎる場合には、5℃の差にこだわる必要はありません。熱中症になる恐れもありますので、適切に空調を効かせて外出を控えましょう。

又、水分補給は必要ですが、冷たい飲み物は少量ずつ飲むようにします。汗とともに失うミネラルなどの補給にスポーツドリンクは適していますが、糖分が多く含まれているので、飲み過ぎには注意が必要です。そして食事で大切な栄養バランスを考えること、疲労回復効果の高いビタミンB1が多く含まれているもの(豚肉、大豆、うなぎ、玄米など)を積極的に食べましょう。今年は暑さに上手く慣れ、夏バテ知らずの夏を過ごしましょう!

